

みんなの目・芽・めっ

No.113

2021年/12月

発行 特定非営利活動法人住みよいあさくらをめぐす風おこしの会 理事長 星野洋子 事務局 別府 ☎ 0943-72-4152

多様性を認め合う地域づくり

「女性の勇気応援!!」2回連続講座開催

1回目「語って気づこう」多様性を認め合う地域とは…

日時:2021年10月9日(土)10:00~12:00

会場:朝倉地域生涯学習センター 第1会議室

出席者数:会員 11名、会員以外 11名、合計 22名

コロナによる非常事態宣言のため、当初三回の予定であったが急遽二回に変更しての開催となった。

だれもが活躍の場をもてる、多様性を認めあう地域づくりをめざす連続講座の第一回目が、ワークショップ方式で行われ、多くのおもいを語りあった。



第1回連続講座の会場の様子

第一部は東京オリンピックの森発言に代表された差別性や問題点をあぶり出した。しかし、これは森さん世代には普通感覚なのではないかとの意見も多数あった。結果的にいい問題提起となり、国民ひとりひとりが考えるきっかけとなったとの意見が多く出された。特にパラリンピックに対しての見識を変える機運を作った。

第二部の「暮らしやすい地域づくりを考える」では、まず少子高齢化の事態に変化を求める思いが多かった。地域コミュニティでも、講座への女性の参加は多いが、役員への登用が少なく、閉塞感を打ち破るには、女性の進出をうながすべきである。

まだまだ長老の発言力が大きく、女性や若い人など様々な立場の人が発言しやすい環境づくりが大切である。そうでなければ、地域の役割を担う人がいなくなってしまうのではとの意見が目立った。

「男性は席を譲る勇気を、そして女性は席に座る勇気を!!」

できる人ができる場所で積極的に関わる勇気を持とう!と第二回へとつなぐ講座とした。(野田暁子)

女性の勇気応援！連続講座

2回目 「増やしたい！地域の女性役員・女性議員」 コミュニティ・各議員の思いを聞こう…

日時:2021年11月13日(土)10:00~12:00

会場:朝倉地域生涯学習センター 視聴覚室

出席者数:会員 15名、会員以外 7名、合計 22名

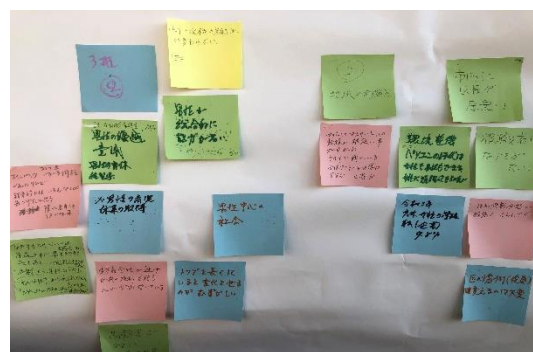
ワークショップを行うために4人~5人のグループを4班つくり、壁に貼った模造紙を各班が囲むレイアウトで意見の出やすい雰囲気をつくった。

テーマ1「コミュニティと地域の役員さんの思いを聴こう」では参加者が現状の問題点と課題を把握し共有するため3人の方の体験と思いを聴いた。

- ・林みつ子さん…民生委員・人権擁護委員・区長歴任(秋月)
- ・井上博之さん…朝倉地域コミュニティ事務局長(朝倉)
- ・梶原京子さん…東峰村田舎いい仲(東峰村)

3人の違った立場での経験に基づいたお話で「現実の問題点に気付かされた」との意見があった一方、「役員になると地域の課題について発言できる」や「役職になると人の役に立ち活躍できる」という肯定的で積極的な感想もあった。また、管理職登用にあたり男女の配慮に苦慮された現実も知った。

テーマ2では「どうしたら女性の役員・議員が増えるのか」をテーマ1で出た意見や問題点、現状を再確認し深掘りした。「女性が役員になったら家庭(家の仕事)との両立はどうか?」「女性は育児や介護があるので外(地域)に出にくいのではないか」「区の会計は女性。→女性は会計が得意という思い込み」など、家庭内の役割分担意識の現実やアンコンシャスバイヤスの現状もあった。



みんなの意見を集約して…

そうした現実を踏まえて女性も自主的に地域の役職に就くための現実的な仕掛けや仕組み、システムづくりに向けてグループワークを続けた。活発な会話が交わされ「小さな役でも引き受けよう」「女性自身情報収集、経験を積む能力をつける努力も必要」「経験することは苦労もあるが自信につながる」と、女性を勇気づける意見や背中を押している言葉も多くあった。特に、より幅広く深く多岐にわたる学びが必要だとの意見がいくつか目に止まった。つまりエンパワーメントと「場づくり」の必要性だ。

アンケートに「グループが少人数で意見交換しやすかった」との感想があり、実際少人数でどのグループでも参加者全員が活発に意見交換している様子が見られた。参加者が能動的に動き当事者意識が生まれたからこそ意見が多く出されたと思う。具体的な仕掛けや仕組みづくりまでは届かなかったが次のステップが見えた！と感じた連続講座だった。

ご参加くださった皆様に心から感謝いたします。

(内山育子)

意思決定の場への女性の参画状況に関する質問

2021年10月1日現在

※市町村議会議長は議会議員には含まれません

役職名	朝倉市	筑前町	東峰村
	女性の数 (全体数)	女性の数 (全体数)	女性の数 (全体数)
市町村長	0(1)	0(1)	0(1)
副市町村長	0(1)	0(1)	0(0)
部長	1(8)	0(0)	0(0)
課長	6(36)	4(20)	2(7)
参事	0(3)	1(1)	0(0)
課長補佐	1(6)	5(14)	1(5)
係長	30(102)	30(59)	2(12)
教育長	0(1)	0(1)	0(1)
教育委員	1(4)	2(5)	2(4)
社会教育委員	4(10)	6(10)	2(8)
農業委員	3(19)	2(19)	1(11)
行政改革委員	-(-)	0(0)	0(0)
民生委員児童委員	77(155)	28(51)	8(12)
人権擁護委員	4(10)	3(7)	1(2)
選挙管理委員	0(4)	2(4)	0(4)
市町村議会議長	0(1)	0(1)	0(1)
市町村議会議員	3(17)	2(13)	0(8)
行政相談委員	2(3)	0(2)	1(1)
小学校 PTA 会長	0(11)	0(4)	0(0)
中学校 PTA 会長	0(6)	0(2)	1(1)

審議会等における女性委員の割合

※審議会・協議会・委員会は地方自治法202条の3に基づいて設置されているものとします

	朝倉市	筑前町	東峰村
審議会	56(154)	41(108)	2(26)
協議会	17(58)	45(116)	2(6)
委員会	30(120)	83(190)	0(7)
女性の参画率	31.0%	40.8%	21.4%

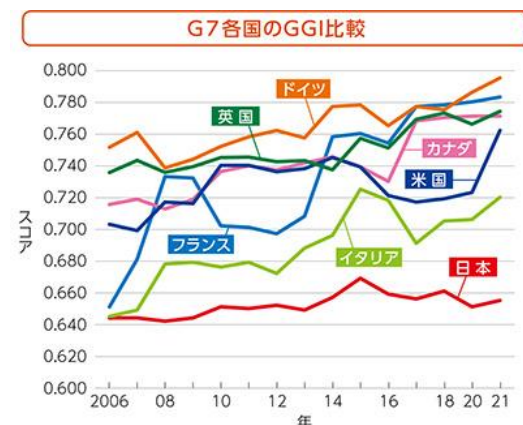
男女共同参画担当課	総合政策課	企画課	住民税務課

GGI2021

ジェンダーギャップ指数 2021 年
世界経済フォーラム (World Economic Forum : WEF) が 2021 年 3 月、「The Global Gender Gap Report 2021」を公表し、各国における男女格差を測るジェンダーギャップ指数 (Gender Gap Index : GGI) を発表しました。この指数は、「経済」「政治」「教育」「健康」の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を示しています。2021年の日本の総合スコアは 0.656、順位は 156 か国中 120 位 (前回は 153 か国中 121 位) でした。前回と比べて、スコア、順位ともに、ほぼ横ばいとなっており、先進国の中で最低レベル、アジア諸国の中で韓国や中国、ASEAN 諸国より低い結果となりました。

分野	スコア	昨年のスコア
経済	0.604	0.598
政治	0.061	0.049
教育	0.983	0.983
健康	0.973	0.979

日本は、特に、「経済」及び「政治」における順位が低くなっており、「経済」の順位は 156 か国中 117 位 (前回は 115 位)、「政治」の順位は 156 か国中 147 位 (前回は 144 位) となっています。政治分野では、スコアは上がっているものの、順位は下がっています。これは、各国がジェンダー平等に向けた努力を加速している中で、日本が遅れを取っていることを示しています。



※2018年公表までは、公表年のレポートが公表されていたが、2019年公表分は「GGI 2020」となり、2020年のインデックスとして公表されたため、年の数字が連続していない。

出典：内閣府男女共同参画局 HP「トピックス」より

あすばるフォーラム リモート視聴会報告

「すべての人が輝く令和の社会へ」

～もっと前に もっと強く もっと優しく～

あすばる男女共同参画フォーラム 2021 開館 25 周年 基調講演

講 師: 林 伴子さん(内閣府男女共同参画局長)

期 日: 2021 年 11 月 27 日(土) 13:00～14:30 ライブ配信

会 場: 朝倉市男女共同参画センター あすみん

参加者: 8 名(風おこしの会、朝倉市男女共同参画審議会、あすみん運営委員、あすみん関係者)

「第 5 次男女共同参画基本計画」策定を力強く牽引された講師の話は、実にエネルギーで度肝を抜かれました。(意表をつかれました) 以下は印象に残った言葉です。「・今ほど男女共同参画の視点が求められている時代もない・異次元の取り組みをしないとパスできない・世の中は変わってきている。もはや昭和ではない。・悪循環を好循環に」。推進体制の強化では「国民の幅広い意見を反映させる」「地域における男女共同参画センターの機能強化」が挙げられており、「絵に描いた餅にしない」という講師の力強い言葉に今までにない刺激を受け勇気づけられた講演でした。(星野洋子)

～風の音～

2021 年 10 月 17 日東峰村に初の女性村会議員が誕生した。この村での女性村議の誕生は、朝倉市・朝倉郡の私たち女性にとって長い間待ち望んできたことである。

「風おこしの会」の前身である「甘木朝倉女性会議」は、「誰もが参加できる生涯学習の場」をと、1 市 4 町 2 村の先輩女性が集まり、約 30 年前に立ち上げた。その目標の一つに男女共同参画のまちづくりがあった。朝倉市、筑前町では、合併前の 1 市 4 町時代から女性を議会に送り出してきた。合併後も活躍中である。東峰村だけが女性議員がいなかったが、今回その誕生である。東峰村の方と共によこびを分かち合いたい。

しかし、一方でこの地域の女性議員が最近減少している。国の施策に反してきているこの地域の現状の、どこに問題が潜んでいるのだろうか。私たちの生活と政治は密着している。行政に対する議員の力は大きい。住みよい社会にするために、気楽に語り合える女性議員をもっと増やしたい。「風おこしの会」の発足当時からの使命は、住んでいる地域に「風をおこすこと」である。

ちなみに、東峰村の高倉美紀恵村議は退職後、生まれた村へ戻ってきて、区長を 2 年務め、村の課題に気づき、今回の村議選に挑戦することになった。

風の動き、風の音を私たちの足もとからつくりたい。

(平田梯子)

～編集後記～

首をすくめるように過ごしたコロナウィルス第 5 波の 8～9 月の後、ようやく風おこしの会が動き始めました。私は会に参加するのは久しぶりで初めは緊張しましたが、みんなでああでもないこうでもないと言いながらの話し合いはとても楽しいです。読み応えのある、でもちょっとほっこりできる、後々データが役に立つ、そんな広報を目指したいと思います。(高木静子)

携帯やスマホから QR コードアプリを使って右の QR コードを読み込めば、風おこしの会のサイトへ簡単にアクセスできます。ぜひ試してみてください！



←フェイスブック
風おこしの会 HP→

